

兵庫教育大学附属幼稚園・小学校・中学校は こんなところです

兵庫教育大学附属学校園の教員として、資質をのばし、研究する楽しさを味わいませんか。
兵庫教育大学附属学校園の教員には、次のような利点や特徴があります。
Q&Aで作成していますので、是非お読みいただきご検討の材料としてください。

目 次

兵庫教育大学附属学校園のミッションとビジョン（令和3年4月14日制定）

Q1	附属学校園に行くとはどんな意義がありますか？	P1
Q2	学校の環境はどうですか？	P2
Q3	研究発表会は毎年開催するのですか？	P3
Q4	大学院への入学に関してはどうですか？	P4
Q5	大学との関係についてはどうですか？	P5
Q6	教員の研修制度及び研究環境に関してはどうですか？	P5
Q7	附属学校園での在職期間や待遇面はどうなっているのですか？	P5
Q8	附属学校の働き方改革はどのような取組をされていますか？	P6
Q9	自宅からの距離が遠い場合は宿舎等に申し込みができますか？	P6
Q10	生活環境についてはどうですか？	P7
	附属学校教員の労働条件について	P8

兵庫教育大学附属学校園のミッションとビジョン
(令和3年4月14日制定)

1. ミッション

○大学と一体となった先導的な教育実践研究の推進

「教師教育のトップランナー」をビジョンとして掲げる大学と一体となり、先端的な教育手法を取り入れ、理論と実践の融合に取り組み、先導的な教育実践研究を推進します。

○新しい時代の教員養成に即した教育実習の実施

学校や社会の変化を見据えつつ、将来学校教員となる学生に対して教育実習を提供し、新たな時代を担う教員の資質・能力の向上に努めます。

○地域のモデル校としての役割の遂行

現代的教育課題の解決に挑む教育研究活動を推進し、その成果を地域社会に還元することによって、地域のモデル校としての役割を担います。

2. ビジョン

○学校像

先端的な教育環境のもとで、幼稚園、小学校、中学校の12年間を通して、園児・児童・生徒、教職員、保護者が一体となって、地域社会と連携しながら、一人一人の子どもの学びと成長が保障される創造性豊かな学校をめざします。

○子ども像

これからの社会において必要とされる情報活用能力を身に付けるとともに、主体的かつ対話的な教育活動を通して、心身ともにたくましく、未来を切り拓いていける知的創造力と寛容性を兼ね備えた、グローバル社会で活躍できる人間を育成します。

○教員像

全国の自治体から附属学校園に派遣される教員が、附属学校教員としての自覚をもち、互いに敬意をもって高め合い、先進的で優れた教育実践に挑み、地元自治体の中心的な教員として活躍できる資質・能力の向上に努めます。

Q1 附属学校園に行くとはどんな意義がありますか？

A1

- 本学附属学校園は、兵庫県からはもとより他道府県（これまでの実績：北海道、千葉、静岡、岐阜、滋賀、京都、大阪、奈良、和歌山、岡山、鳥取、島根、山口、愛媛、高知、福岡、佐賀、宮崎、鹿児島）からも教員が人事交流で来られていますので、それぞれの経験を活かしながら教員同士が意見交換・情報交換を行い協議し、より良い教育の在り方をめざして実践や研究を行っています。各地の様々な情報を交換できることは大きな刺激になり、交流元に帰られてから還元することのできる貴重な経験となります。
- 研究面では、大学教員と共同研究を行ったり、研究面でのサポートを受けることができ、個人研究費（5万円）が措置されます。また、学会の活動や先端の研究内容についても触れる機会が多く、積極的に学ぶことができます。
- 教育実習等で、大学生への指導などの機会も数多くあります。しかし教科の専門性だけでなく真に地元公立校に役立つ学校全体の運営への意識を持って、主任・主幹教諭等のミドルリーダーとしての力量向上や管理職・指導主事をめざす先生方の期待に応え、自治体の管理職不足にも貢献しています。
- GIGA スクール構想に伴い、大学教員との連携を強化し、積極的に ICT 機器（小学校では iPad、中学校では chromebook）を活用する授業、研究、会議、情報共有等の実証実験を行っています。
- 国の拠点校及び地域のモデル校として、先進的な教育を推進していますので、変化の大きなこれからの社会に対応できる教員の資質、能力を身につけることができます。また、これらの能力や資質を向上させるよい機会となります。
- 選ばれた子どもたちに対する特別な教育ではなく、公立学校の教育における授業実践に直接的に還元できる実践・研究を中心に行っています。
- 附属中学校は、国際バカロレア（以下、IB）認定校をめざしています。IBは、1968年に発足した教育プログラムですが、その内容は、探究的な学び（Based on inquiry）、主体的・対話的で深い学び（Focused conceptual understanding、Focused on effective framework and collaboration）や学びに向かう人間性（Developed in local and global contexts）を実践し、現在実施されている学習指導要領の好事例とされています。IBの認定校になるには、関心校→候補校→認定校という過程を経ます。現在、附属中は、「関心校」の段階で、令和4年度に国際バカロレア機構に候補校申請を行い、本格的にIB認定校をめざしますので、「IB認定校に向けた学校づくり」を経験できる機会です。中堅教員や将来管理職をめざす方にも、絶好の機会と考えています。

※委嘱事業の実績（平成24年度以前は省略）

令和4～令和5年度

- インテル STEAM LAB 実証研究／小・中

平成30～令和元年度

- 教育課程研究指定校事業（教科等の本質的なねらいとバランスがとれたクロスカリキュラム研究）／中【国立教育政策研究所委託事業】

平成29～令和2年度

- 教育研究開発事業（社会の一員として新たな問題を創造的に解決する能力を育むデザイン

思考教育を実践する新総合領域「未来デザイン」の教育課程に関する研究開発／小【文部科学省研究開発学校指定】

平成 25～27 年度

- ・インクルーシブ教育システム構築モデル事業／幼・小・中【文部科学省初等中等教育局委託事業】

平成 25～26 年度

- ・教育課程研究指定校事業（幼稚園）／幼【国立教育政策研究所委嘱事業】

平成 25 年度

- ・教育課程研究指定校事業（社会）／中【国立教育政策研究所委嘱事業】
- ・教育課程研究指定校事業（技術・家庭）／中【国立教育政策研究所委嘱事業】

Q2 学校の環境はどうか？

A2

【共通】

- ・校園長、副園長、教頭（小・中）、主幹教諭（小・中）、教諭、養護教諭、栄養教諭、非常勤講師、スクールカウンセラー、学習補助員等で構成されています。
- ・附属中学校は平成 31 年度（令和元年度）、附属小学校は令和 3 年度から専任校長を配置しています。
- ・PTA組織がしっかりしており、学校行事や研究会への協力体制があります。
- ・令和4年5月1日現在：幼稚園6市1町、小学校14市1町、中学校11市3町、全体14市3町から子どもが在籍しています。
- ・コロナ禍に伴って、各学校園の行事内容の見直しや実施方法の見直し等を行うとともに、働き方改革でも公立校の参考となるよう可能な限り業務改善を行っています。
- ・地域との関係の在り方においても学べるよう、来年度、附属学校としては珍しいコミュニティ・スクールとなることをめざしています。

【附属幼稚園】

- ・副担任が各クラスにいます。
- ・幼児が気の合う友達や好きな場所で主体的に遊びを展開する「うれしのタイム」及び年齢や発達に応じて教師が意図的に行う「学級・学年の活動」で、「いきる力」と「学ぶ力」の基盤を培っています。
- ・保護者自身が子育ての力を高めることをめざし、大学教員の協力を得ながら、「保育参加」「園庭開放」「子育て講座」「子育て相談」などを実施しています。
- ・未就園児親子が参加できる「子育てひろば」を年15回程度実施し、在園児や在園児保護者と触れ合う機会をもっています。

【附属小学校】

- ・教科担任制を導入し、全学年で望ましい教科担任制を実践し研究しています。
- ・学年を補助する教員が各学年に、そのほか学習を補助する講師、学習補助員がいます。
- ・うれしのスポーツ、うれしの清掃活動、ミュージカルといった縦割り活動で児童を育てています。
- ・STEAM教育と関連させた特別活動や、総合的な学習の再構成を進めています。
- ・今年からチャイムを鳴らし、授業規律や社会のルールやマナーの指導にも力を入れています

- ・全児童に iPad の配付し、各クラスと特別教室に設置の大型モニタを活用して授業に活用するとともに、iPad を毎日持ち帰らせ、家庭学習にも活用し、コロナ時の学級閉鎖や、欠席児童への授業配信も積極的に行っています。
- ・インテル STEAM LAB 実証研究により設置されたデスクトップ PC 及び 3D プリンタを活用して、STEAM 教育を推進しています。

【附属中学校】

- ・国際バカロレアの認定校をめざし、カリキュラム改革や教員研修を進めています。
- ・学習支援ボランティアがいます。
- ・各種の行事・活動や生徒会等は、生徒が自主的・主体的に運営しており、教員はファシリテーターの役割を担い、生徒の自立・自律心を育成する指導・支援することを大切にしています。
- ・毎朝、職員朝礼で生徒の情報共有を行い、生徒の小さな変化も見逃さない指導体制を構築しています。生徒への指導は、担当任せにせずチームで行うことをモットーに指導をしています。
- ・部活動も、運動部・文化部ともによく活動をしており、東播大会や兵庫県大会への出場を果たしているクラブもあります。これらを通じ、生徒同士はもちろん、教員同士における地域との協力・交流を図っています。部活動は、勝利至上主義ではなく、部活動の運営を自ら担わせることで、生徒の自立・自律の育成をめざしています。
- ・IB認定校をめざすために、公式なIB研修や他のIB認定校との交流を促進し、教員の研鑽に努めています。
- ・全生徒に chromebook の配付し、各クラスと特別教室に設置の大型モニタを活用して授業に活用するとともに、chromebook を毎日持ち帰らせ、家庭学習にも活用しています。また、欠席生徒への授業配信も積極的に行っています。
- ・インテル STEAM LAB 実証研究により設置されたデスクトップ PC 及び 3D プリンタを活用して、STEAM 教育を推進しています。

Q3 研究発表会は毎年開催するのですか？

A3

【共通】

- ・全国の附属学校園が研究発表会を開催し、研究成果を発信しています。これらの資料がいち早く手に入ります。これからの教育に求められる先進的な内容を知ることができます。
- ・各地から参加される先生方と情報交換ができ、自分の授業や学級経営などに活かしたり、交流元の教育に還元したりしています。
- ・人事交流で来ている教員等が、派遣元教育委員会に本附属学校園の研究成果を発表する場を提供していただいて、教育現場に還元する活動を行っています。
- ・新しい学校の生活様式として、多くの方が参加しやすいように、実施方法を公開授業の配信や協議・意見交換をリモートでも行うようにしています。

【附属幼稚園】

- ・大学の教員や近隣地域の幼稚園や保育所の先生方とともに、毎年 1 回「幼年教育研究会」を開催し、保育を公開し、本園の研究テーマを基に意見交換を行っています。現場の先生方が参加しやすいように、土曜日開催としています。

【附属小学校】

- 毎年発表しています。北は北海道から南は九州・沖縄まで、全国各地から毎年延べ 600 名前後の参加者があります。1 学期より校内授業研で切磋琢磨し 1 月下旬～2 月上旬に研究発表会を開催します。そのほか、国の拠点校及び地域の研究モデル校となるべく、授業実践交流会も適宜行っています。

【附属中学校】

- 年度によって開催時期の変動はありますが、毎年、研究発表会を開催しています。併せて、校内研究授業を行い、事後検討会では教員が元気で楽しく授業が行えるよう工夫しています。

Q4 大学院への入学に関してはどうですか？

A4

- 附属学校園在職中に兵庫教育大学大学院（博士課程は対象外）に入学することが可能です。（各校園長の推薦により、派遣元の都道府県・市町教育委員会と協議し了承された場合）
 - 大学院には修士課程と専門職学位課程（下記説明参照）があり、希望のコースに入学することができます。
 - 大学院を修了すると以下の学位が授与されます。
修士課程…修士（学校教育学）、専門職学位課程…教職修士（専門職）
 - 大学院には、附属学校園長の派遣推薦枠の中で、受験し、入学することができます。
 - 大学院に入学した場合、入学料（約 28 万円）及び授業料（約 54 万円）は本学が負担します。大学院在学中も教員としての給与が支払われます。
 - 大学院在学中は、通常業務等を行いながらの修学となりますが、非常勤講師の配置により負担の軽減を図っており、非常勤講師と一緒に学級経営・学年経営・教科指導・生活指導等をする事になります。
 - 加東キャンパスで実施する昼間の授業を受講して単位を修得することが可能です。在学期間は 2 年です。
 - 平成 27 年度から、交流元に戻られてから本学大学院に入学した場合に、入学料及び授業料を本学が負担する制度を導入しました。
これは、附属学校園において原則 3 年以上勤務して交流元に戻られた後、10 年以内に、実践的指導力の更なる向上及び高度な専門性の修得を図る目的で本学大学院に入学し、かつ、大学院修了後も公立学校教員として勤務されることが確約できる場合で、所属されている都道府県・市町教育委員会の了承の上、入学時に所定の申請を行い、学長が許可したときは、入学料及び授業料を本学が負担するします。ただし、附属学校園在職中に大学院派遣教員として本学大学院で研修に従事した方を除きます。

兵庫教育大学には教職大学院（専門職学位課程）が設置されています。スクールリーダーを養成する新しいタイプの大学院です。学校経営を導く校長、副校長、教頭などの管理職層と、カリキュラム・授業づくりや生徒指導・進路指導などを中心的に推進するミドル層のスクールリーダーを育成する大学院です。

Q5 大学との関係についてはどうですか？

A5

- 大学図書館が近いので、専門書等の閲覧・貸出ができ、また、文献データベースの検索や本文入手などが簡単に行えます。
- 大学教員との共同研究も進んでいます。興味・関心のある教育課題、これからの子どもに必要なと思われる教育内容、研究に必要な知識・技能などを比較的容易に身につける事ができる学習環境が整っています。専門家が近くにいる利点を大いに活用してください。
- 附属小学校では、大学教員に研究発表会で各分科会での助言者を依頼しているほか、授業への協力依頼や教材等の提供、共同の教科研究会を定期的に持つなどして研究を深めています。
- 附属中学校では、大学教員と一緒にキャリア総合選択授業を実施し、キャリア教育の一環として、探究学習を行っています。
- 教科指導については、大学教員から専門的な立場のアドバイスを受けることができます。また、研究会や校内研修会等でも指導を受けることができます。大学教員との、密接な関係づくりを進めています。
- 大学で開講している特別支援教諭免許状が取得できる免許法認定公開講座（1講習 5千円）が、無料で優先的に受講できます。受講人数に限りがありますので、受講希望者が多数いる場合は選考します。

Q6 教員の研修制度及び研究環境に関してはどうですか？

A6

- 附属学校園では、義務教育学校の任務、教育実習・実地教育校の任務、大学・公立学校の研究協力校としての任務、そして研究推進モデル校としての任務を果たしています。これらの任務を果たすために、附属学校園では、以下の研修会等に出向く出張旅費が計上されています。
 - 全国の附属学校園が開催する研究発表会
 - 財団や教育機関等が全国で開催する研修会
 - 独立行政法人教職員支援機構（旧教員研修センター）が西日本などで実施する新学習指導要領実施に係る研修や、これからの時代に必要な資質向上に関わる研修などの各種研修

Q7 附属学校園での在職期間や待遇面はどうなっているのですか？

A7

- 交流元の教育委員会との間の取り決めで、在職期間は原則3年、最長5年となっています。教育委員会と協議の上、大学院進学等により在職期間を延長することも可能ですが、研鑽を積まれてから必ず交流元教育委員会所属に戻っていただきます。
- 附属学校園に勤務されると、兵庫教育大学の職員となります。給与は大学から支給されます。共済保険は公立学校共済組合から文部科学省共済組合に変更となります。
- 附属学校園での勤務年数は、県や市町に戻った時に通算されますから、退職金等で不利になることはありません。
- 本学派遣直前の勤務先で受けていた支給割合の地域手当を最大5年間支給します。
- 公立学校では、教務主任等が連絡調整や指導・助言の業務に従事するため登校し勤務した場合には、1日200円の教育業務連絡調整手当が支給されるところが多いですが、本学では月額4、

200円としているため、夏休み等で勤務が少ない場合も定額が支給されます。

- 大学で夏期休業期間中に開講される「特別支援教諭免許状」が取得できる免許法認定公開講座を受講できます。受講料も免除されます。受講には校園長の推薦が必要ですが、中堅教諭等資質向上研修（旧10年経験者研修）についても、便宜が図られています。

※詳細な情報については、別添「国立大学法人兵庫教育大学附属学校園教員の労働条件について」をご覧ください。

Q8 附属学校の働き方改革はどのような取組をされていますか？

A8

主に次のような取組を行っています。

- 教職員の意識改革のため、勤務時間の割振り制度を導入し勤務時間の適正化を図るなど勤務時間を明確化しているとともに、7時前の出勤禁止、最終退勤時刻21時としています。NO残業デーやNO会議デー等も設けています。
- グループウェアを導入し、スケジュールや共通文書（様式等含む）等の情報を共有し、効率的に業務を行っています。
- Teams を活用した情報共有やオンラインによる打ち合わせや会議を促進し、ペーパーレスに努めています。
- 留守番電話機を導入し、時間外においては、できるだけ外部からの電話を受けないことにしています。
- 会議時間を設定し、会議の開始時刻と終了時刻を事前に周知するようにし、会議の時間は原則、上限90分としています。
- 1年単位の変形労働時間制を導入し、休暇を取得しやすい時期を提示するようにしています。そのため夏季休業等の長期休業は出勤するのはごくわずかです。
- 部活動のルールの見直し、生徒や保護者とも情報共有するようにしています。さらに水曜日をノー部活デー、土日のいずれかを休養日、また、一部の部活動に大学生のサポーターを活用しています。

Q9 自宅からの距離が遠い場合は宿舍等に申し込みができますか？

A9

- 空き室があれば職員宿舍を借りることができます。一般の住宅ですと賃貸料が高額になる場合がありますが、大学の職員宿舍を借りれば負担は少なくてすみます。
ただし、職員宿舍は限られた予算のもとに建設され、大学が管理していますので、民間の賃貸住宅とは性格が異なることをご理解ください。
- 兵庫県外から来られている方は、家族で利用できる宿舍（附属幼・小・中に隣接）を借りている方もいますし、県内でも通勤時間が長い場合に、一人用の宿舍を借りて、週末に自宅に戻る方もいます。

職員宿舍の広さ、間取り、料金は次のとおりです。

○47㎡の部屋は、和室6、6、4.5畳、台所、浴室（バランス釜）、トイレで、7、661円、

駐車 料金が、3、042 円です。

○一番多いタイプ、63 m²の部屋は、室 6、6、4.5 畳、居間、台所、浴室（バランス釜）、トイレで、13、293 円、駐車料金は同じです。（単身、家族とも多くの方が入居）

○一番広い 71 m²の部屋は、和室 6、6、6 畳、居間、台所、浴室（バランス釜）、トイレで、20、022 円、駐車料金は同じです。

※ガスはプロパンガスです。また、基本的に、照明などの電化製品、ガスコンロ、給湯器、換気扇等は設置されておりませんので別途取り付けが必要です。

Q10 生活環境についてはどうですか？

A10

- 附属幼稚園・小学校の向かいには県立社高等学校や県立教育研修所があり、その研修所の隣には加東市立加東みらいこども園があります。また、市役所へは 800m、市民病院、大型ショッピングセンター（イオン社店）、ホームセンターなどは 3km 圏内にあり、生活に必要な環境は全て揃っています。ただ、公共交通機関による移動は制約がありますので、自動車等の利用をお勧めします。
- 附属学校園地区に嬉野会館（ゲストハウス）という宿泊施設がありますので、お客様等で必要なときに利用することができます。利用料は 1 泊一人利用の場合、2、100～2、500 円です。

国立大学法人兵庫教育大学附属学校教員の労働条件について

1. 適用法令 国立大学法人法、労働基準法 等

2. 服務関係

区 分	内 容
1 週間の労働時間	1 週間当たり 38 時間 45 分（ただし、1 年単位の変形労働時間制（※）により増減有）
1 日の労働時間	7 時間 45 分（ただし、1 年単位の変形労働時間制（※）により増減有）
休日	<input type="checkbox"/> 土曜日、日曜日 <input type="checkbox"/> 国民の祝日に関する法律に定める休日 <input type="checkbox"/> 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日までの日 <input type="checkbox"/> 1 年単位の変形労働時間制により上記以外に休日になる場合あり
休憩時間	1 時間又は 45 分

※ 1 年単位の変形労働時間制とは、業務の繁閑に応じ労働時間を配分することができる制度で、本学附属学校園では、授業日の労働時間を増やす代わりに、夏季休業中の労働時間を減らしたり、休日を増やす等行っており、まとまった休みを取ることが可能になっています。

年次有給休暇	1 年	20 日
	繰越日数	20 日
病気休暇	公務	医師の証明等に基づき、最小限度必要と認める期間
	私事	医師の証明等に基づき、引き続き 90 日を超えない範囲内で最小限度必要と認める期間
主な特別休暇	選挙権の行使	その都度必要と認める期間
	官公署への出頭	その都度必要と認める期間
	ドナー	その都度必要と認める期間
	社会貢献活動	1 年で 5 日の範囲内の期間
	結婚	連続する 5 日の範囲内の期間
	産前	8 週間
	産後	8 週間
	配偶者出産	2 日の範囲内の期間
	子の看護	1 年で 5 日以内（小学校就学前の子が 2 人の場合は 10 日）
	家族の介護	1 年で 5 日以内
	忌引き	配偶者の場合 7 日の範囲内の期間 等
	父母の追悼	1 日の範囲内の期間
	夏季休暇	7 月～9 月までの期間内で連続する 3 日
	人間ドック	総合的な健康診査をうけることを承認された期間
	災害時の自宅復旧作業	連続する 7 日の範囲内の期間
	出勤困難	必要と認められる期間
退勤途上の危険回避	必要と認められる期間	
介護休業	3 回を超えない範囲で、かつ、通算して 6 月の範囲内	
育児休業	当該子が 3 歳に達する日まで	
育児部分休業（育児時間）	当該子が小学校第 3 学年の終期を経過するまで（所定労働時間の始め又は終わりにおいて、1 日 2 時間の範囲内）	
育児短時間勤務制度	休日	労働日・時間
	土・日	月～金に 3 時間 55 分（週 19 時間 35 分）
	土・日	月～金に 4 時間 55 分（週 24 時間 35 分）
	土・日と月～金の労働日以外の日	月～金のうち 3 日に 7 時間 45 分（週 23 時間 15 分）
	土・日と月～金の労働日以外の日	月～金のうち 2 日に 7 時間 45 分 1 日に 3 時間 55 分（週 19 時間 25 分）
定年	60 歳	

3. 給与・手当関係

区分	内 容																																	
本俸	本学への着任直前の給与額をもって決定する。昇給は年1回（1月1日）																																	
教職調整額	俸給の4%（主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭に対し支給）																																	
義務教育等教員特別手当	号俸に応じて 教 頭 4, 200円～8, 000円 主幹教諭 3, 700円～7, 500円 教 諭 2, 100円～7, 100円 養護教諭 2, 100円～7, 100円 栄養教諭 2, 100円～7, 100円 ※幼稚園の場合は上記の半額																																	
扶養手当	主として教職員の扶養を受けている扶養親族（年額130万円以上の恒常的な所得がある者を除く。）がある場合に支給 <input type="checkbox"/> 配偶者…… 6,500円 <input type="checkbox"/> 満22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子……10,000円 <input type="checkbox"/> 満22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある孫……6,500円 <input type="checkbox"/> 満60歳以上の父母及び祖父母……6,500円 <input type="checkbox"/> 満22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある弟妹……6,500円 <input type="checkbox"/> 扶養親族たる子のうちに満15歳に達する日以後の最初の4月1日から満22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子……上記に5,000円加算																																	
通勤手当	自動車利用の場合、片道2km以上の場合に支給 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>距離区分</th> <th>手当額</th> <th>距離区分</th> <th>手当額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2km以上～5km未満</td> <td>2,000円</td> <td>35km以上～40km未満</td> <td>21,600円</td> </tr> <tr> <td>5km以上～10km未満</td> <td>4,200円</td> <td>40km以上～45km未満</td> <td>24,400円</td> </tr> <tr> <td>10km以上～15km未満</td> <td>7,100円</td> <td>45km以上～50km未満</td> <td>26,200円</td> </tr> <tr> <td>15km以上～20km未満</td> <td>10,000円</td> <td>50km以上～55km未満</td> <td>28,000円</td> </tr> <tr> <td>20km以上～25km未満</td> <td>12,900円</td> <td>55km以上～60km未満</td> <td>29,800円</td> </tr> <tr> <td>25km以上～30km未満</td> <td>15,800円</td> <td>60km以上～</td> <td>31,600円</td> </tr> <tr> <td>30km以上～35km未満</td> <td>18,700円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		距離区分	手当額	距離区分	手当額	2km以上～5km未満	2,000円	35km以上～40km未満	21,600円	5km以上～10km未満	4,200円	40km以上～45km未満	24,400円	10km以上～15km未満	7,100円	45km以上～50km未満	26,200円	15km以上～20km未満	10,000円	50km以上～55km未満	28,000円	20km以上～25km未満	12,900円	55km以上～60km未満	29,800円	25km以上～30km未満	15,800円	60km以上～	31,600円	30km以上～35km未満	18,700円		
距離区分	手当額	距離区分	手当額																															
2km以上～5km未満	2,000円	35km以上～40km未満	21,600円																															
5km以上～10km未満	4,200円	40km以上～45km未満	24,400円																															
10km以上～15km未満	7,100円	45km以上～50km未満	26,200円																															
15km以上～20km未満	10,000円	50km以上～55km未満	28,000円																															
20km以上～25km未満	12,900円	55km以上～60km未満	29,800円																															
25km以上～30km未満	15,800円	60km以上～	31,600円																															
30km以上～35km未満	18,700円																																	
住居手当	自ら居住するため住宅を借り受け、月額16,000円を超える家賃を支払っている場合に支給（職員宿舎に入居の場合は除く） <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>家賃額</th> <th>手当額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月額27,000円以下</td> <td>家賃の額から16,000円を控除した額</td> </tr> <tr> <td>月額27,000円を超える</td> <td>家賃の月額から27,000円を控除した額の2分の1（その控除した額の2分の1が17,000円を超えるときは、17,000円）を11,000円に加算した額</td> </tr> </tbody> </table>		家賃額	手当額	月額27,000円以下	家賃の額から16,000円を控除した額	月額27,000円を超える	家賃の月額から27,000円を控除した額の2分の1（その控除した額の2分の1が17,000円を超えるときは、17,000円）を11,000円に加算した額																										
家賃額	手当額																																	
月額27,000円以下	家賃の額から16,000円を控除した額																																	
月額27,000円を超える	家賃の月額から27,000円を控除した額の2分の1（その控除した額の2分の1が17,000円を超えるときは、17,000円）を11,000円に加算した額																																	
単身赴任手当	人事交流により附属学校園へ採用となった事に伴い、住居を転居し、配偶者が引き続き就業するなどの特別の事情があり配偶者と別居する必要が生じ、採用直前の住居から附属学校園までの通勤距離が60km以上ある場合に支給 手当額は、月額30,000円に配偶者の住居と教職員の住居との間の交通距離に応じて次の額を加算 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>距離区分</th> <th>加算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100km以上 300km未満</td> <td>8,000円</td> </tr> <tr> <td>300km以上 500km未満</td> <td>16,000円</td> </tr> <tr> <td>500km以上 700km未満</td> <td>24,000円</td> </tr> <tr> <td>700km以上 900km未満</td> <td>32,000円</td> </tr> <tr> <td>900km以上 1,100km未満</td> <td>40,000円</td> </tr> <tr> <td>1,100km以上 1,300km未満</td> <td>46,000円</td> </tr> <tr> <td>1,300km以上 1,500km未満</td> <td>52,000円</td> </tr> <tr> <td>1,500km以上 2,000km未満</td> <td>58,000円</td> </tr> <tr> <td>2,000km以上 2,500km未満</td> <td>64,000円</td> </tr> <tr> <td>2,500km以上</td> <td>70,000円</td> </tr> </tbody> </table>		距離区分	加算額	100km以上 300km未満	8,000円	300km以上 500km未満	16,000円	500km以上 700km未満	24,000円	700km以上 900km未満	32,000円	900km以上 1,100km未満	40,000円	1,100km以上 1,300km未満	46,000円	1,300km以上 1,500km未満	52,000円	1,500km以上 2,000km未満	58,000円	2,000km以上 2,500km未満	64,000円	2,500km以上	70,000円										
距離区分	加算額																																	
100km以上 300km未満	8,000円																																	
300km以上 500km未満	16,000円																																	
500km以上 700km未満	24,000円																																	
700km以上 900km未満	32,000円																																	
900km以上 1,100km未満	40,000円																																	
1,100km以上 1,300km未満	46,000円																																	
1,300km以上 1,500km未満	52,000円																																	
1,500km以上 2,000km未満	58,000円																																	
2,000km以上 2,500km未満	64,000円																																	
2,500km以上	70,000円																																	

地域手当	人事交流により附属学校園へ採用となった場合に、派遣元自治体が定める地域手当の支給割合に合わせ、最長5年まで支給。		
広域異動手当	人事交流により附属学校園へ採用となった場合で、当該異動前後の勤務箇所間の距離及び当該異動直前の住居から当該異動直後に在勤する勤務箇所までの間の距離が60km以上となる教職員に支給する。(地域手当との調整有)なお、附属学校園の教員については、最長5年まで支給。		
教員特殊業務手当	非常災害時	幼児、児童、生徒の保護	8,000円/日
		負傷、疾病等に伴う救急	7,500円/日
		緊急の補導	7,500円/日
		修学旅行、林間・臨海学校引率	4,250円/日
		対外運動競技等の引率	4,250円/日
		部活動	3,000円/日
		入学試験の監督・採点・判定	900円/日
教育実習等指導手当		720円/日	
教育業務連絡指導手当	小学校	教務主任	4,200円/月
		学年主任(第1学年～第6学年)	
		生徒指導主事	
		研究主任	
		教育実習主任	
		保健主事	
		DX推進主任	
		研修主任	
		業務改善主任	
	アフタースクール主任		
	中学校	教務主任	
		学年主任	
		生徒指導主事	
		研究主任	
教育実習主任			

4. 共済組合

文部科学省共済組合兵庫教育大学支部に加入

(参考) 学級数及び教員数

	学級数	教員数
附属幼稚園	3歳児 2	9
	4歳児 2	
	5歳児 2	
附属小学校	各学年 3	29
附属中学校	各学年 3	22

※附属幼稚園の教員数に園長(大学教員兼務)含む。

※令和4年4月1日現在の情報であり、今後変更される場合あり。